

# 当院におけるピロリ菌の受診者

(2015年2月～2016年2月)

はじめに

2013年2月からの除菌療法における保険適応拡大により、受診者は増加している。一方、一次除菌率は低下してきている。

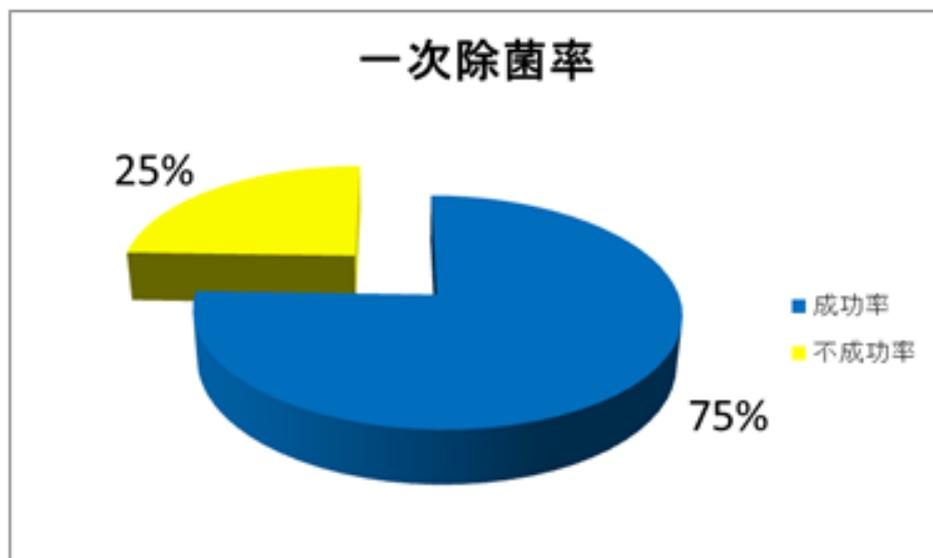
酸関連疾患治療剤であるポノプラザンが除菌薬として承認され、一次除菌率改善の期待が高まり、当院でも2015年7月より採用した。

2015年2月から2016年1月までの受診者の集計と一次除菌率を求めた。  
また、ポノプラザンが採用された2015年7月から2016年2月までの一次除菌率を求めた。

## 2015年2月～2016年1月

受診者数: 325名(男性142名、女性183名)

年齢: 32～86歳



## ボノプラザンによる一次除菌率 (2015年7月～2016年2月)

一次除菌成功率は低く、当院では2015年7月よりピロリ除菌療法にボノプラザンを採用した。2016年2月まで一次除菌療法を行った症例を検討した。

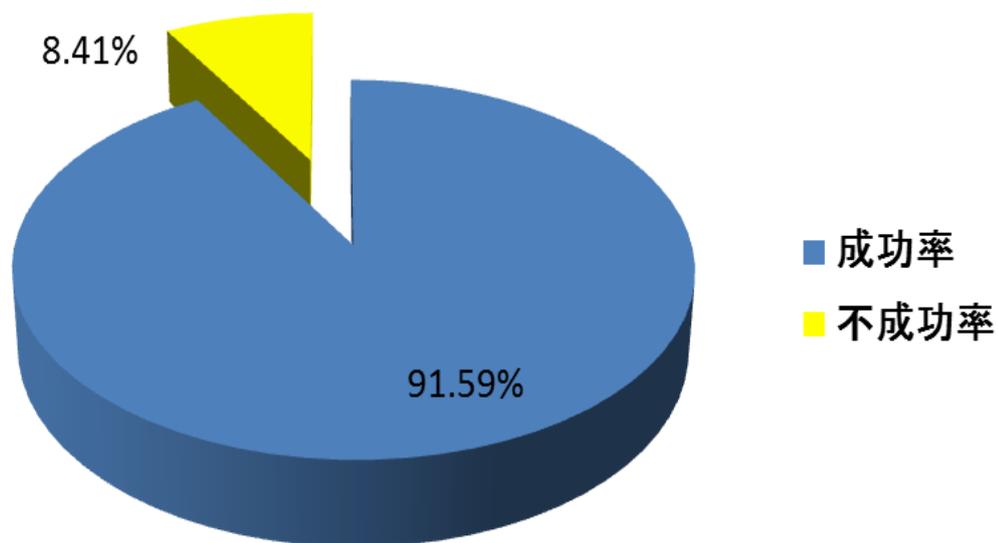
受診者数: 127例(男性54名、女性73名)

年齢: 32～87歳

一次除菌成功率: 91.59% (109/119)

副作用: 下痢、蕁麻疹(頻度は既報と同程度)

### ボノプラザンによる一次除菌率



## まとめ

昨年と比較すると一次除菌率は上昇したが、ボノプラザンによる除菌率の改善によるものと考えられる。ボノプラザンによる一次除菌率は高く、今後の除菌療法が期待される。

日本ヘリコバクター学会認定医 桂田純二郎